

平成28年4月 定例教育委員会 会議録

1. 日 時 平成28年 4月 6日(水) 開会 15時00分 閉会 15時40分

2. 場 所 福井市役所第1委員会室

3. 出席者 教育委員長 玉木 誠  
教育委員 佐藤 藤枝  
教育委員 木村 敦子  
教育委員 春木 伸一  
教育委員(教育長) 内田 高義

<事務局職員>

教育部長	村田 雅俊
少年対策参事官	小林 淳一
教育次長	倉 美幸
生涯学習室長	高柳 博彰
図書館統括館長	有田 康弘
教育総務課長	松浦 茂一
学校教育課長	吉川 雄二
保健給食課長	川上 順子
青少年課長	松田 幸治
スポーツ課長	村西 正明
文化財保護課長	天谷 賢一
図書館副館長	吉田 淳一
みどり図書館長	高間 明夫
桜木図書館長	白崎 卓
調整参事	西行 裕
教育総務課副課長	北 隆幸
教育総務課主任	山本 恭唯
教育総務課副主幹	吉田 浩一

4. 議 題

議 事

第1号報告 専決処分(福井市社会教育指導員設置等に関する規則の一部改正)  
の承認を求めることについて

報 告

- (1) 福井市教育委員会事務局職員の異動について
- (2) 福井市教育委員会事務局に勤務する教職員について

## 5. 議事の経過

開会の前、事務局管理職の新旧交代のあいさつを行なった。

(1) 開会、委員長あいさつ

(2) 会議録署名委員の指名 佐藤藤枝 委員 春木伸一 委員

(3) 議事の要旨

玉木委員長	まず、第1号報告 専決処分（福井市社会教育指導員設置等に関する規則の一部改正）の承認を求めることについて、事務局から説明を求める。
事務局 (生涯学習室長)	福井市社会教育指導員の任期について、再任できる上限の期間を3年から5年に改めるものである。改正理由として、社会教育指導員の業務は社会教育に関する指導や社会教育団体の育成など、長期的な視点での継続的な指導を行うことが望ましいことからであり、施行期日は平成28年4月1日とした。
玉木委員長	ただ今の説明について、ご意見、ご質問等はないか。  — 特に意見なし —
春木委員	社会教育指導員は現在何名在籍しているのか。
事務局 (生涯学習室長)	生涯学習室所属として5名、青少年課所属として1名の計6名である。
玉木委員長	他に何かご意見ご質問はないか。  — 特に意見なし —
玉木委員長	それでは第1号報告 専決処分（福井市社会教育指導員設置等に関する規則の一部改正）の承認を求めることについて、報告の通り承認することでご異議ないか。  — 異議なしの声 —
玉木委員長	第1号報告を報告の通り承認する
玉木委員長	次に報告事項に移る。報告(1) 福井市教育委員会事務局職員の異動について、事務局からの説明を求める。
事務局 (教育部長)	平成28年4月1日付け福井市教育委員会事務局職員の異動について、ご報告申し上げます。 まず、今回の定期異動のポイントについて、一つ目は、福井国体や北陸新幹線

福井開業、人口減少対策など、喫緊の課題に新しい視点や柔軟な発想で対応するため、大規模な組織改正を踏まえた人事異動を行なった。二つ目は、女性の視点や感性を事業や施策に反映させ、多様な市民ニーズに応じた質の高い行政サービスを提供していくための人員配置とした。三つ目は、第4次福井市定員適正化計画に基づく定員管理を基本に、業務実態や行政需要に応じたメリハリのある人員配置とした。

今回の異動規模について、異動者総数は1,021人で、昨年度比113人多く異動した。また、採用・退職状況について、退職者数103人に対して、新規採用者数が106人、フルタイム再任用職員が19人となり、合計職員数は2,346人、昨年度比6人増となっている。

次に今回の機構改革の主な概要について、一つ目は、未来へ向けたまちづくり推進のための体制強化として、地方創生や人口減少対策、地域の強みや特色を活かした地域づくりを全市的に推進するため、総務部内に「未来づくり推進局」を新設した。また、中核市移行に向けた各省庁との連絡調整、首都圏への情報発信による観光誘客やUIターンを積極的に推進するため、「東京事務所」を新設した。二つ目は、市民協働によるまちづくり推進のための体制強化として、地域の防災・防犯対策等の安全・安心なまちづくりに関する施策を市民と連携・協働して推進するため、市民生活部内に「危機管理局」を新設し、これまで総務部内にあった「危機管理室」を「危機管理局」内に移管した。また、総合ボランティアセンターの開設に伴い、ボランティア活動と市民活動とを一体的に推進していくための組織再編を行なった。三つ目は、観光誘客やUIターン促進のための体制強化として、本市の観光と文化を融合し、戦略的なシティプロモーションにより観光誘客を図るため、商工労働部内に「観光文化局」を新設し、教育委員会から「自然史博物館」、「美術館」、「郷土歴史博物館」の運営を移管するとともに、従来、文化課にて行っていた文化振興に関する業務を、「観光文化局」内に「文化振興課」を新設し、こちらに移管した。また、人口減少対策に向けてUIターン就職や移住定住を促進するための組織体制を強化した。四つ目は、福井国体等開催準備業務のための体制強化として、平成30年福井国体及び全国障害者スポーツ大会の開催準備等に全庁体制で取組むため、教育委員会内にあった「国体・障害者スポーツ大会推進室」を部に格上げした形で、市長事務部局に「国体推進部」を新設した。

— 以下、会議資料にて異動の概要について説明 —

玉木委員長

ただ今の報告について、何か質問等はないか。

— 特に意見なし —

玉木委員長

次に報告（2）福井市教育委員会事務局に勤務する教職員について、事務局から説明を求める。

事務局 (学校教育課長)	<p>今回の定期異動に伴い、資料 15 ページの通り教職員が異動した。今回の異動では 2 名の教職員が異動となった。</p> <p>— 以下、学校教育課管理主事、学校教育課指導主事、保健給食課指導主事、青少年課カウンセラーの順で紹介 —</p> <p>なお、在籍校のところで学校名が記している教員は、県派遣の指導主事であり、福井市教委とあるのは福井市教育委員会に行政転出した指導主事である。</p>
玉木委員長	ただ今の報告について、何か質問等はないか。
春木委員	青少年課のカウンセラーについて、カウンセラーは国家資格ではないので、役目としてカウンセリングを行なうという意味でのカウンセラーでよろしいか。
事務局 (学校教育課長)	その通りである。
佐藤委員	学校籍と福井市教育委員会籍とでは、仕事の内容に違いなどはあるのか。
事務局 (学校教育課長)	仕事の内容に違いはないが、給料の支給元が違う。
玉木委員長	<p>予定していた報告事項は以上であるが、他に何かないか。</p> <p>— 特になし —</p>
玉木委員長	今日、福井鉄道とえちぜん鉄道を使って市役所に来た。それぞれの駅でホームの形や高さが違って、中にはお年寄りの方が使いにくいような駅もあったが、電車の運転手は乗客に気を使っているようで感じが良かった。我々も学校や公民館などいろいろな場で行政サービスを行なっているが、常に課題や問題がないか考えながら取り組んでいきたい。
玉木委員長	最後に事務連絡をお願いする。
事務局 (教育総務課主任)	次回の定例教育委員会について、5 月 26 日（木）午後 3 時から、場所は福井市役所 8 階第 3 委員会室にて開催するので、ご出席いただきたい。
春木委員	教育委員会を開催する曜日について、何か内規のような決まりはあるのか。
事務局 (教育総務課副主幹)	特に内規のようなものは無いが、各委員の負担にならないよう配慮している。

玉木委員長

以上をもって会議を終了する。

平成28年 5月24日

署名委員 佐藤 藤枝

署名委員 春木 伸一

会議録作成職員 吉田 浩一